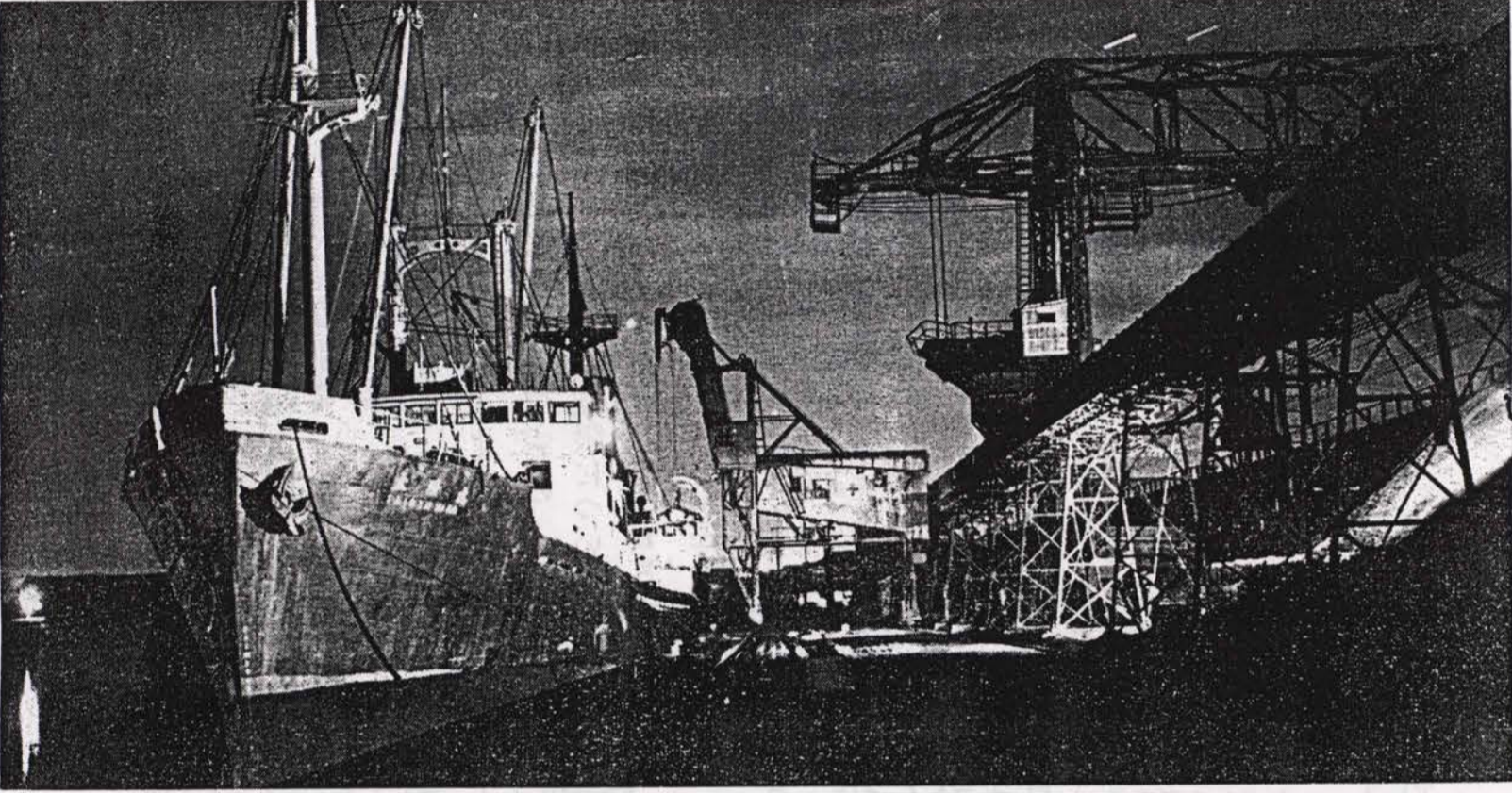


広報るもい

発行所
留萌市役所
電話(代)270番
編集人
総務課長 寺井利恵
留萌市幸町三丁目
印刷所 金子印刷所
(毎月1回1日発行)

新年賀詞



新年のごあいさつ
留萌市長 橋本 作市

皇太子といわゆる民間の人であられた正田美智子姫との御成婚という世紀の盛典に湧きかえり、内外共に目まぐるしい多事多端なうちに昭和三十四年を送り、ここに新しい希望にあふれる昭和三十五年の新春をお迎えできました。

とを皆さまと共に喜び申し上げます。地方自治行政に携わっている多くの人々がそう思うであろうように、私もまた、この新しい年が、産業並びに文化に飛躍的な発展をもたらし、かつ隣接町村行政がなお一層進展して地域住民の生活向上のために大きく寄与する輝かしい年であるよう希つてやみません。昨年とは稀有の豊作に恵くまれましたこと何よりも喜ばしいことではありますが、唯一つ痛恨であった事は大和炭田の閉山とこれに伴う多くの石炭産出者を出したことでありまして、これらの方々の中には今後の生活に途を見出し得ないまま年の瀬を越され、その苦悩

は新しいこの年にも及ぶであろうことは全く御同情に堪えませんが、一日も早く再起されるよう、今後最大限の努力を傾けたいと思っております。また漁村は連年打続く凶漁による疲弊からの回復はまだ充分でなく、したがって今年には大きな目標を新農山漁村の振興対策、特に漁家の再建、漁業経営の確立のための漁業の総合的開発に重点をおいて速かなる推進をはかり度いと存じます。

ひるがえつて市の財政も國の施策と市民各位の自主的御協力により漸次好転しつつありますが、なお一層これが改善に努力し、今年こそは、更に健全財政

- の確立をはかり、行政水準の質的向上と近代化に意を用い市民の福祉によりよく貢献すべきときであると考えるものであります。さらに新年の課題といしましては、漁業にかかわるべき経済振興のための産業立地誘導の整備を始め教育施設の増充、新設舎の建設等いくらの重要問題が山積しておりますが、皆さまの絶大な御協力を得て、これが、解決に前進努力する所存でございます。最後に四万市民皆さまの御多幸をお祈りしまして新年のごあいさつといたします。
- (写真は橋本市長)

黎明の留萌港

一写真一
北海道新聞社提供



市民の皆様新年おめでとうございませう。光輝ある一九六〇年の新春にあたり、市民の皆様と共に今日の喜びをともにできぬことを心から感謝いたしたいと思います。私はこの輝かしい新春にあたり、活き活きとした感激に打たれながら過去を反省し、新しい構想を描きながら、本年こそは輝かしい歴史をつくり出したいものと念願してやみません。振り返りますと、昨年の我が國は、有史以来の豊作に恵まれ、産業界は一部の不況部門を除いて活況を呈しました。然しながら反面伊勢湾台風の惨禍があり、本

市においては創業二十有年の歴史をもち、多数の従業員を擁する大和炭田の閉山を見ましたことは、まさに不幸な出来事でありまして、これら被災者並びに炭産出者の方々には深い同情の念を禁じ得ません。これらの方々が、新春に際しもう一度新しく希望を失わず雄々しく再起を期せられますよう祈つてやみません。

また市政面におきましては、御承知のとおり本市は貧困な市政の中にあつて実行したい重要施策が山積しており、市民の経済生活に直結した自治の運営はまさに困難なものがあ

りまして、これをいかに合理的に切り開いていくか、つまり財政再建を期しつつ、どのようにして建設施策を促進するかが、大きな課題と考えられます。そしてこの解決は強力な関係機関への要請、中央折衝にまつ所が大いにと信じ、市理事者、議会が一体となつて運動を進めてまいつた結果、幸いにして漸次その成果を見つております。この成果を、満足すべきものであつたとは考えておりません。われわれ議員といたしましては、市民のよき奉仕者として、市民の悩みを、苦しみ、そして希望をそのまま議会を通じて市政に反

年頭のごあいさつ

留萌市議會議長 大和 信正

映することを第一に考えて協力一致、重要問題の解決に懸命の努力を傾注し、市民皆様の負託に堪える決意をあらたにする次第であります。

新春にあたり、市民の皆様御健康と御多幸をお祈りいたしまして年頭のごあいさつと致します。

(写真は大和議長)

一日	元旦、新年交礼会
二日	誓初め
四日	御用始め
六日	小寒
七日	七草
十一日	鏡開き
十五日	成人の日、成人式、小正月
十六日	やぶ入り
十九日	始業式
二十日	二十日正月
二十一日	大寒
二十八日	旧元旦、初不動